

## 抗 hnRNP-U / SAF-A 抗体, ウサギ抗血清 (HUT)

70-415 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃ で保存。

**抗原:** リコンビナント MBT 融合マウス hnRNP-U (アミノ酸 No. 614-800).

**形状:** 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

**反応性:** マウス、ラット hnRNP-U と反応。アミノ酸配列の相同性からヒト hnRNP-U とも反応すると推測される。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング (1/3,000-1/1,000 希釈)
2. 免疫細胞化学 (1/1,000-1/500 希釈)
3. 免疫沈降

**背景:** ヘテロ核リボヌクレオタンパク質 U (hnRNP-U、**scaffold attachment factor A, SAF-A** と呼ばれる) は核マトリクス結合タンパク質であり、染色体 DNA に結合する。hnRNP-U は DNA の scaffold/matrix attachment 領域に特異的に結合し、クロマチンの高次構造に関与していると考えられる。hnRNP-U はまた RNA 結合タンパク質であり、ヘテロ核 RNA (hnRNA) と複合体を形成し、pre-mRNA のプロセッシングと輸送に重要な役割を果たしていると考えられる。

hnRNP-U はまた、ニューロンや骨格筋細胞など、分化の終了した細胞において発現している増殖抑制因子 *neclin* に結合することが報告されている。hnRNP-U は *neclin* を核マトリクスへ運び、そこで hnRNP-U と *neclin* は安定な複合体を形成する。*neclin* は 特異的な核内の構造において hnRNP-U と相互作用して細胞増殖を抑制していると考えられる (文献 2)。

マウス hnRNP-U に対する抗体 (HUT と命名) がウサギで作られた (文献 2)。

**データリンク:** Swiss-Prot [Q8VEK3](#) (マウス), [Q00839](#) (ヒト)

**文献:** この抗体は文献 2 で作成され、用いられた。

1. Kiledjian M and Dreyfuss G (1992) "Primary structure and binding activity of the hnRNP U protein: binding RNA through RGG box." *EMBO J* 11: 2655-2664 PMID: [1628625](#)
2. Taniura H and Yoshikawa K (2002) "Necdin interacts with the ribonucleoprotein hnRNP U in the nuclear matrix." *J Cell Biochem* 84:545-555 PMID: [11813259](#)

**Related product:** [#74-100 anti-Necdin antibody](#)

次ページへ

図 1 この抗体を用いた hnRNP-U のウエスタンブロットティング

抗 hnRNP-U 抗体、HUT の特異性  
pRc/CMV ベクター (pRc) または、Myc-tagged hnRNP-U を発現している pRc/CMV ベクター (Myc-UF) を感染させた SAOS-2 細胞の lysate を調製した。exogenous な Myc-tagged hnRNP-U (Myc-U) と endogenous hnRNP-U (U) タンパク質を抗 Myc 抗体 ( $\alpha$  Myc) または HUT 抗体 ( $\alpha$  U) でウエスタンブロットした。

この抗体は SAOS-2 細胞において、exogenous な Myc-tagged hnRNP-U と endogenous な ~120 kDa の hnRNP-U タンパク質を認識した。

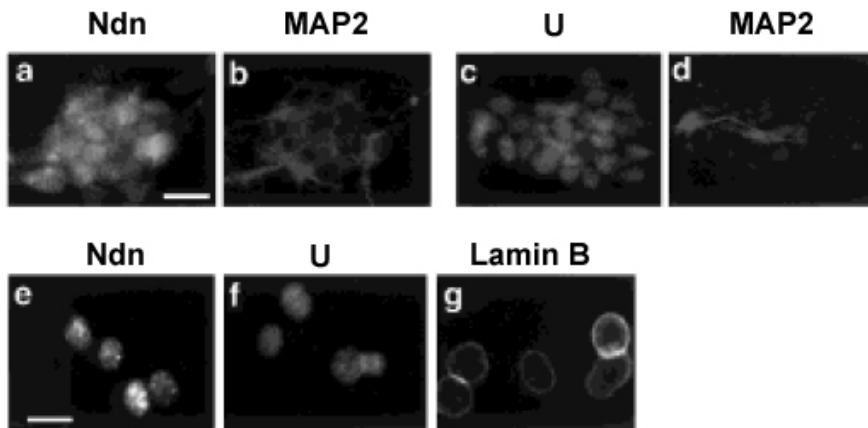
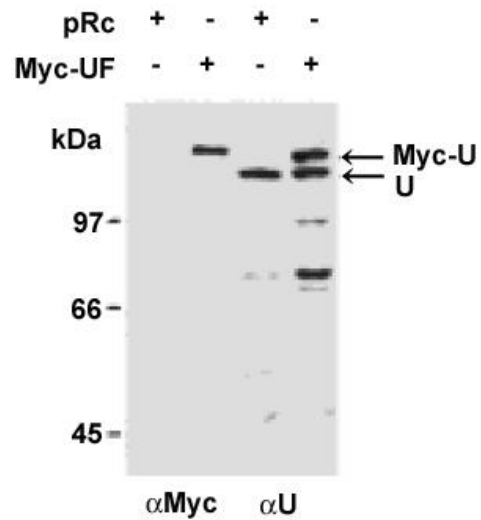


図 2 HUT 抗体を用いた免疫細胞化学

マウス P19 ニューロンを抗 necdin 抗体(Ndn) (a)で、また hnRNP-U (U) (c)を HUT 抗体で標識し、同時に抗ニューロンマーカーMAP2 を抗 MAP2 抗体 (b, d) でラベルした。また、核マトリクスを in situ に調製し、necdin (Ndn) (e)、hnRNP-U (U) (f)、核マトリクスマーカー-lamin B (g) を標識した。

Necdin と hnRNP-U はともに、ニューロンマーカーMAP2 (a-d)を発現している分化ニューロンの核に局在した。necdin はニューロンの細胞質にも分布していた(a)。in situ に抽出された核マトリクスにおける免疫細胞化学では necdin と hnRNP-U はともに nucleoplasm (e, f) に点在していた。核マトリクスのマーカーである Lamin B は nuclear lamina(g)に局在した。これらの結果は、necdin と hnRNP-U がともにニューロンの核マトリクスに結合していることを示唆している。